

第3次厚木市教育振興基本計画策定に係る児童生徒のアンケート調査結果について

1 調査目的

本調査は、第3次厚木市教育振興基本計画（以下「次期計画」という。）の策定に当たり、本市の義務教育についての現状や課題を把握するとともに、児童・生徒の声を反映させた今後の教育施策の方向性を定めることを目的に、児童・生徒を対象にアンケート調査を実施するものです。

2 調査方法

(1) 調査対象者

ア 市立 23 小学校 5 年生 1,740 人

イ 市立 13 中学校 2 年生 1,882 人

(2) 調査方法

G I G A スクール端末を使用し、児童・生徒が回答

(3) 調査期間

令和7年2月6日（木）～2月28日（金）

3 回答状況

次のとおりです。（※全体数は2月1日現在）

学年	全体数（人）	回答者（人）	回答率（％）
小学5年生	1,740	1,208	69.4
中学2年生	1,882	1,389	73.8

4 調査結果の表示方法

(1) グラフに記載されているN値とは、回答者数のことを示しています。

(2) 集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0％にならない場合があります。

5 調査項目一覧

次のとおりです。

調査項目	設問 No.	設問内容
10 年後なりたい人について	1	10 年後、どのような人になりたいですか
厚木市の義務教育の現状について	2	学校生活で先生と話す時間はありますか
	3	授業を受けるための学校の設備は整っていますか
	4	いやなことや不安なことがあったとき、相談できる人がいますか
	5	おうちの人とお話ししますか

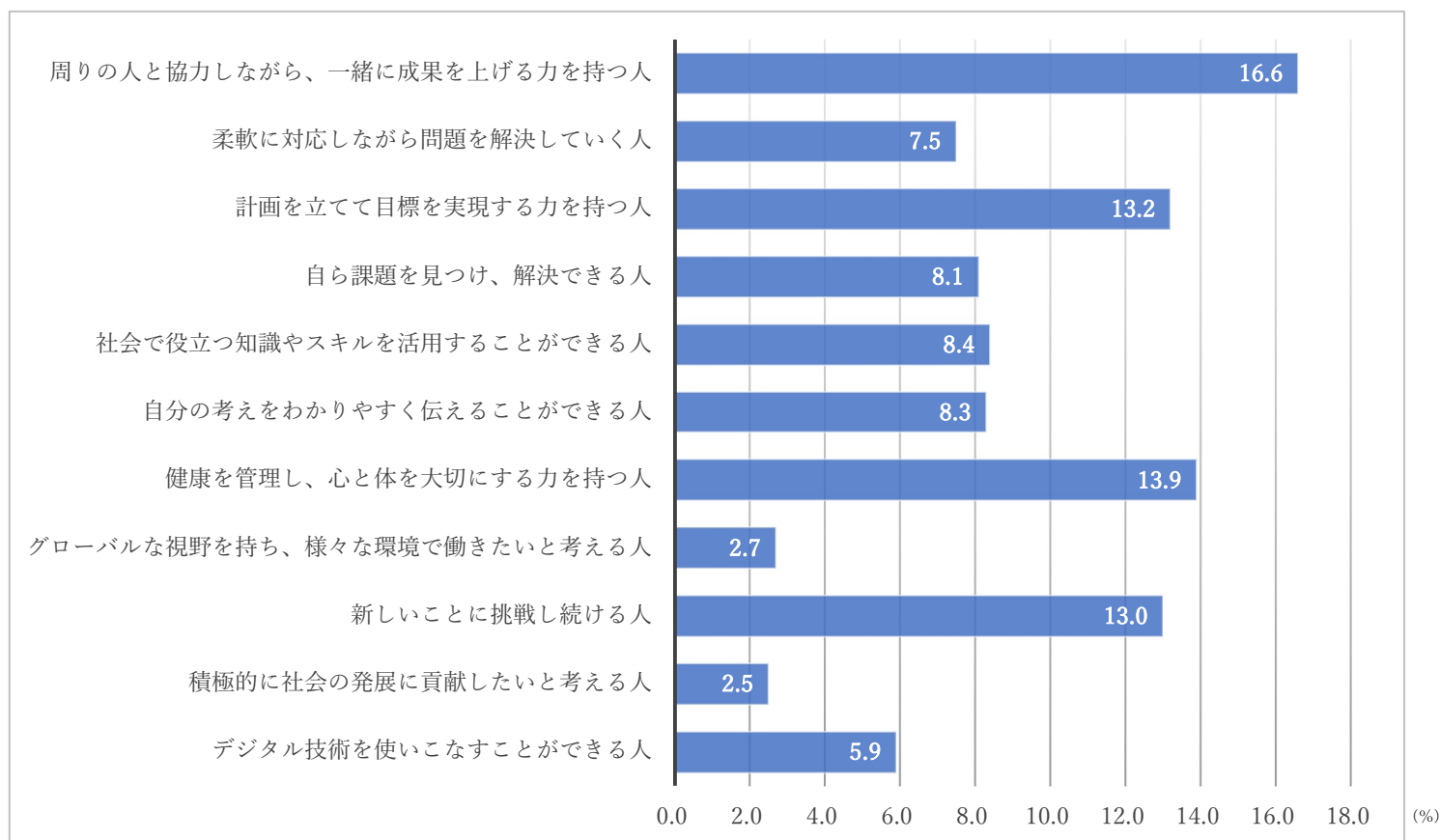
6 調査結果

(1) 質問事項1「10年後、どのような人になりたいですか」(3つ選択)

- ア 周りの人と協力しながら、一緒に成果を上げる力を持つ人
- イ 柔軟に対応しながら問題を解決していく人
- ウ 計画を立てて目標を実現する力を持つ人
- エ 自ら課題を見つけ、解決できる人
- オ 社会で役立つ知識やスキルを活用することができる人
- カ 自分の考えをわかりやすく伝えることができる人
- キ 健康を管理し、心と体を大切にできる力を持つ人
- ク グローバルな視野を持ち、様々な環境で働きたいと考える人
- ケ 新しいことに挑戦し続ける人
- コ 積極的に社会の発展に貢献したいと考える人
- サ デジタル技術を使いこなすことができる人

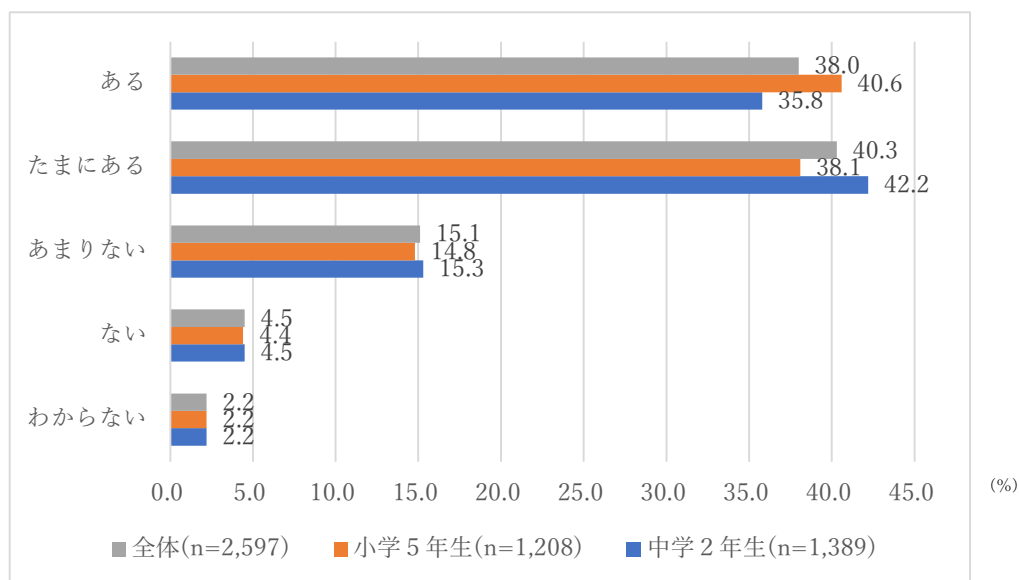
「周りの人と協力しながら、一緒に成果を上げる力を持つ人 (1,295 件) (16.6%)」になりたいと考える児童・生徒の割合が最も多く、次いで「健康を管理し、心と体を大切にできる力を持つ人 (1,082 件) (13.9%)」、「計画を立てて目標を実現する力を持つ人 (1,028 件) (13.2%)」と続いています。

(n=7,791) ※1人3つ選択



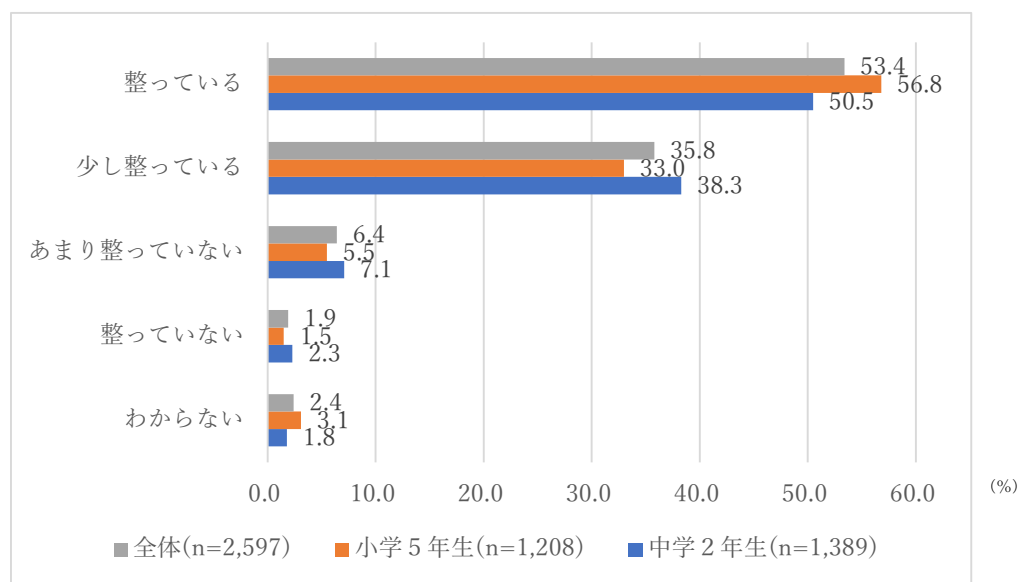
(2) 質問事項2「学校生活で先生と話す時間はありますか」

学校生活で先生と話す時間が「ある・たまにある」を選択した児童・生徒の割合は、78.3%です。



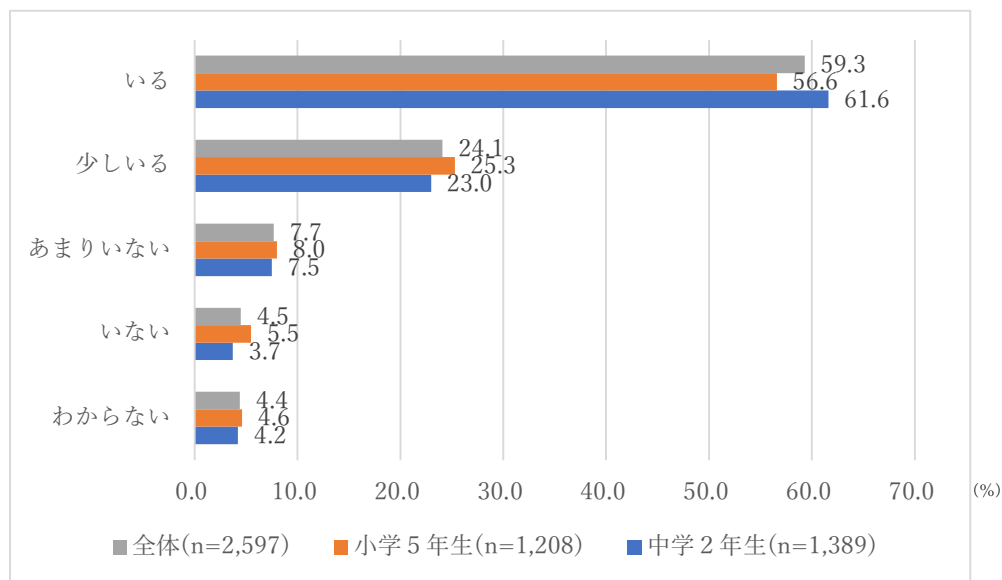
(3) 質問事項3「授業を受けるための学校の設備は整っていますか」

授業を受けるための学校の設備は「整っている・少し整っている」を選択した児童・生徒の割合は、89.2%です。



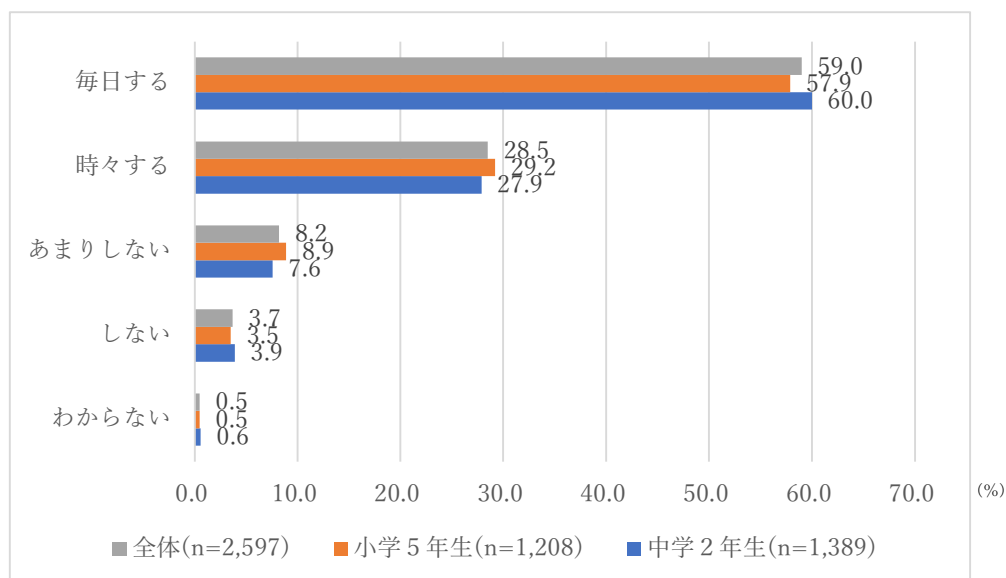
(4) 質問事項4「いやなことや不安なことがあったとき、相談できる人がいますか」

いやなことや不安なことがあったとき、相談できる人が「いる・少しいる」を選択した児童・生徒の割合は、83.4%です。



(5) 質問事項5「おうちの人とお話しますか」

おうちの人とお話しを「毎日する・時々する」を選択した児童・生徒の割合は、87.5%です。



7 調査結果の活用方法

(1) 質問事項 1 (※参考参照)

- ア 基本目標を設定の際の参考とする。
- イ すべての選択肢が今後必要な力となることから、基本目標や基本方針への反映を検討する。
- ウ アンケート結果下位の内容について、その理由等を分析し、計画への位置付けを含め、今後の教育の取組に反映していく

【上位 3 項目】

- ①周りの人と協力しながら、一緒に成果を上げる力を持つ人（協働力やコミュニケーション能力）
- ②健康を管理し、心と体を大切にできる力を持つ人（健康やウェルビーイングへの意識）
- ③計画を立てて、目標を実現する力を持つ人

《参考》【下位 3 項目】

- ①積極的に社会の発展に貢献したいと考える人（責任感やリーダーシップ）
- ②グローバルな視野を持ち、様々な環境で働きたいと考える人（国際的な競争力やグローバルな適応力）
- ③デジタル技術を使いこなすことができる人（情報活用能力や ICT スキル）

(2) 質問事項 2 ～ 5

- ア 教育委員会では、第 2 次教育振興基本計画の基本方針ごとの成果と課題を把握しているが、本調査により、児童生徒からみた成果と課題を把握した。第 3 次教育振興基本計画の計画期間は 10 年、基本方針は 5 年ごとのため、5 年後同様のアンケート調査を実施し、取組の成果が上がっているか把握する。
- イ 5 年後に同様のアンケート調査を実施するに当たり、目標値を設定し、該当する施策の評価指標とする。
なお、その他の評価指標及び目標値については、今後検討していく。